

『新耐震グレーゾーン木造住宅耐震診断』講習会

～2000年耐震規定強化前の新耐震基準で建築された木造住宅の耐震診断～



明日発生するかもしれない大震災に備えて、旧耐震基準の建築については盛んに耐震補強などの措置を検討されてきました。原則としてはその考え方で合っています。しかし、木造建築にはもう一つ現行法（2025年3月末まで）の性能よりも劣る基準が存在します。それが近年不安視されていて行政庁も助成をするように検討を進めている「新耐震グレーゾーン木造住宅」です。これは新耐震基準でありながらも、阪神淡路大震災以前の建物で2000年に柱頭柱脚の緊結など耐力壁の基準が見直される前の建物を指します。厳密に言えば必要耐力への改正は無かったので成立する外力を見ているのですが、大震災においてその基準では不足しているのを補った仕様に改正したために既存不適格として存在し、単純に言えば築22～45年程度の住宅は全てその枠に入ります。我々専門家としてその基準の建物の耐力がどの程度で、どのくらい補強が必要なものなのか？認識を新たに理解し、防災へ向けた準備の一つとして知らなくてはなりません。木造特別委員会においては本年度に統計や一定数のサンプルによるシュミレーションを行い、各行政庁や各支部へ配布させていただいた冊子を作成しました。今回はその資料を基に診断の手法も合わせて解説する講習会となっております。

主 催：一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 木造特別委員会

日 時：ライブ配信 令和7年3月7日（金） 開講 13:30～16:00

（終了時刻は前後する可能性があります。）

開催方法：web ライブ配信（『zoom』使用）

受講方法：ネットワークに接続されたパソコン・タブレット・スマートフォン から受講できます。

お申込み後、招待 URL・ミーティング ID をメールにて送付致します。

講 師：木造特別委員会委員長 山中 信悟（株式会社悟工房一級建築士事務所）

木造特別委員会委員 斉藤 三千代（コモンセンス二級建築士事務所）

木造特別委員会委員 宮崎 良子（一級建築士事務所ウッドディテール）

内 容：・新耐震グレーゾーン住宅の耐震性能とは？

・新耐震グレーゾーン住宅の診断方法と見立て方

対 象 者：・会員及び賛助会員

・会員外及び一般

定 員：50名

受 講 料：会員及び賛助会員 ……2,500円

（1名あたり）会員外及び一般 ……5,000円

～お知らせ～

この講習会は、建築 CPD 情報提供制度の認定プログラムとなります。（予定）

裏面お申込書欄を CPD の申請に使用致します。必ずご記入漏れがないようお願い致します。

問合せ先：一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 TEL：045-228-0755（担当 小林）

申込先 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町 3-12 加瀬ビル 201-2F TEL 045-228-0755

登録番号 T7020005002834

申込方法

①web からの申し込みの場合 <https://j-kana.net/> (クレジットカード決済、コンビニ決済等の利用が可能です。)

※申込画面の備考欄に建築士事務所名をご記載ください。

②郵便振替または、銀行振込にて下記振込先に参加費を入金し、講習会申込書と振替票の写しを同時に申込先に FAXにてお送りください。(振込手数料は各自ご負担下さい。) 申込先 FAX : 045-212-3807

郵便振替口座 : 00230-5-16393 口座名称 : 神事協 ^{しんじきょう} ^{こうしゅうかい} 講習会

(※ 他銀行からの振込みの場合 : ゆうちょ銀行 ○二九店 当座 0016393)

または、横浜銀行 関内支店 (普) 1041842

口座名称 : 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

(3/7 木造特別委員会 講習会)

参加申込書

(一社)神奈川県建築士事務所協会 御中

令和 年 月 日

事務所名		支部名 (会員のみ記入)	
所在地 (会員は記入不要)	〒		
Eメール	@		
TEL		FAX	
受講者氏名			
フリガナ (必須)			
建築CPD情報提供制度参加者ID番号 (又は建築士 級別及び登録番号 ※二級・木造は登録都道府県)			
会費	会員・賛助会員	・・・¥2,500 (消費税 227 円含む※消費税率 10%)	お振込み金額 円
	会員外・その他一般	・・・¥5,000 (消費税 454 円含む※消費税率 10%)	
お支払い済み票貼付欄			

※ 一度納入された参加費については、いかなる場合も返金はできませんのでご了承ください。(定員を超えた場合を除く)